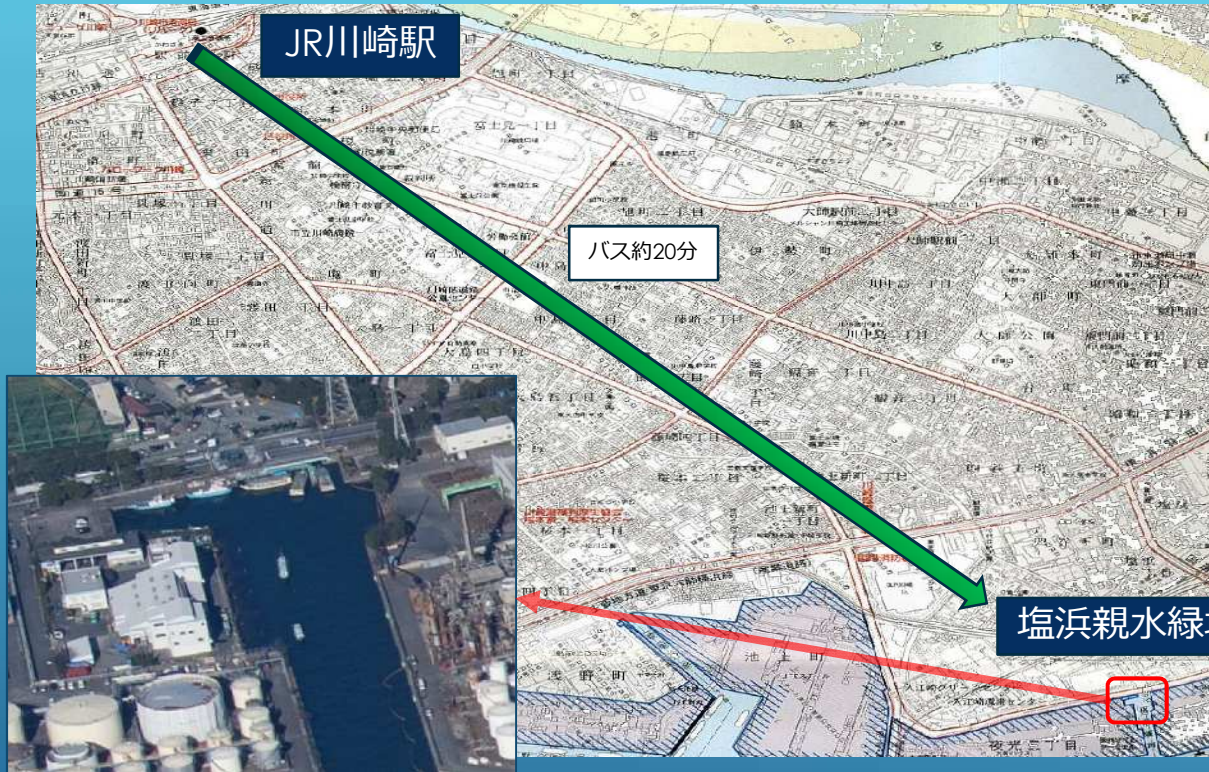


塩浜親水緑地の活用

対象地の位置

港湾局経営企画課



【所在地】

川崎市川崎区夜光3丁目1番1

【アクセス】

J R川崎駅からバス約20分
バス停の目の前

J R川崎駅から市営バス

〔川10〕系統：塩浜行

〔川40〕系統：かわさき南部斎苑経由 塩浜営業所行

ピーク時：3～4本／1時間

閑散時：2～3本／1時間

塩浜親水緑地の利活用

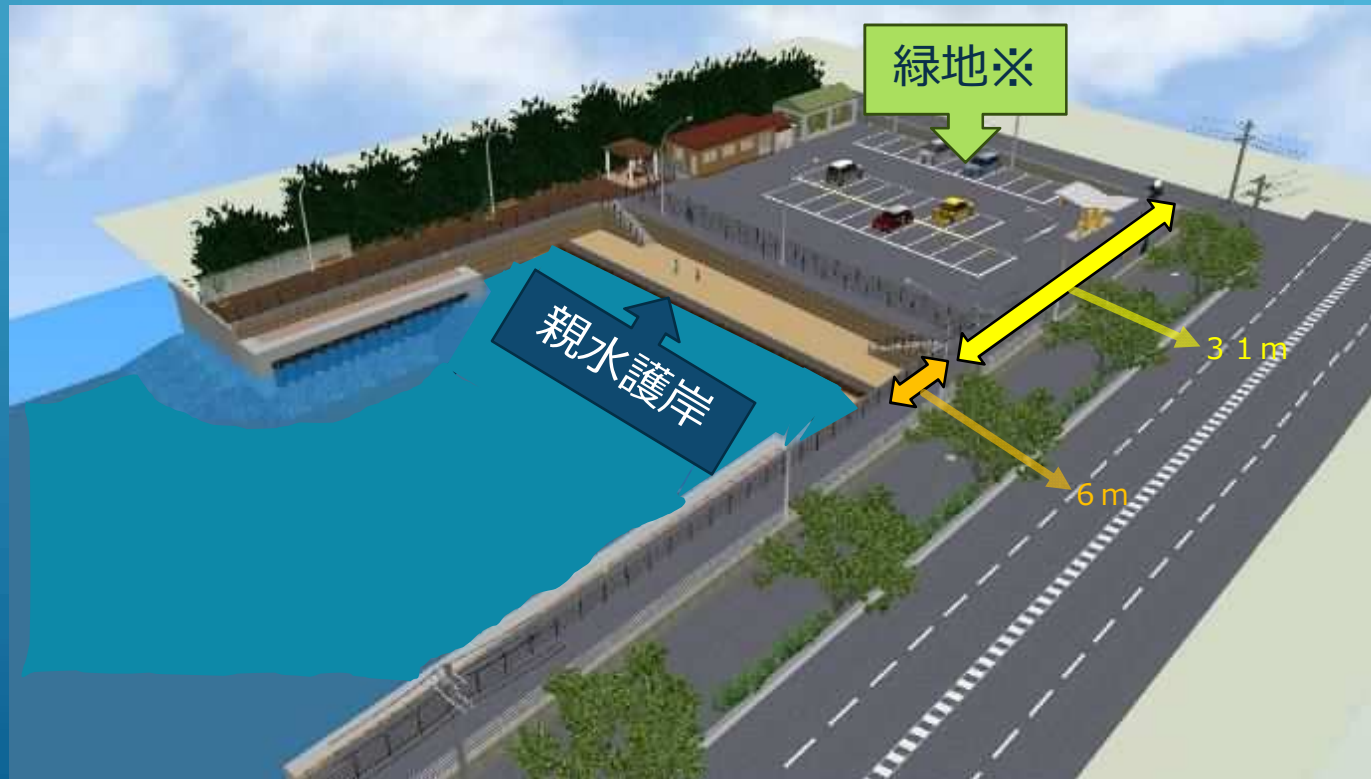
対象地の概要

活用の対象となるエリア

親水護岸 約 200m² (6M×33M)

緑地 約 1255m² (31M×40M)

(親水緑地のイメージ)



【 周辺状況等 】

○周辺土地利用

入江崎温水プール、入江崎水処理センター、入江崎クリーンセンター、川崎市南部リサイクルセンター他、工場等が立地

○水質環境

運河部は水深が浅く、波は静かで特段水の汚れはない

○親水護岸の水位

親水護岸の高さと川崎港の標準水位は同じです。潮が引くと陸地になり、満ちると水中に入ります。

※緑地部分については現状建物等の設備は全くありません。イメージ図は、駐車場として整備した場合の例示です。実際の駐車場のスペックは、活用内容により検討していきます。

塩浜親水緑地の利活用

今後、ご意見・ご提案をお聴きしたい事項①

【塩浜親水緑地についての市の基本的な考え方】

昭和34年に物揚げ場として整備されましたが、老朽化に伴い、水辺拠点として親水の間へと利用転換を図り、市民等が運河の景観を楽しみ、水辺で自然（海）との触れ合いを楽しむことのできる開放的な親水空間の創出を図っていくこと、としています。

 この考え方を踏まえ、以下のアイデアをお聞かせください

親水護岸と塩浜緑地の有効活用策として、広く学習の間として、にぎわいを創出するためのアイデア

対象

子供から高齢者まで、さまざまな世代を対象としますが、中高生向け、大人向け、など限定したものでも構いません。

具体例

- ・環境学習
- ・美術や音楽などアートに関連した学習や、発表の間
- ・防災に関連した学習 等

塩浜親水緑地の利活用

今後、ご意見・ご提案をお聴きしたい事項②

①のにぎわいを創出するためのアイデアを実現するために必要な付帯設備、および具体的な運営手法のアイデア

【施設整備等】

- | | |
|-------|---------------------------|
| 必置設備 | ◇緑地と親水護岸・親水護岸と水面の間の落下防止柵 |
| | ◇普通自動車の駐車場（スペックは活用内容等による） |
| 考える設備 | ベンチ、東屋、トイレ、足洗い場、多目的室 |
| | 照明、大型車用駐車場 他 |

【運営手法の具体例】

貸付、指定管理者制度、委託、使用許可 等

【スケジュール】

令和3年度に親水護岸と一体となった緑地の利用方法を検討し、令和4年度以降に工事着工を目指しています。

塩浜親水緑地の利活用

2020年11月の意見交換会との条件等の違い

・対象エリア

緑地・親水護岸・前面水域 ⇒ 緑地・親水護岸に限定

・親水護岸

多段式（階段型）の構造 ⇒ 一段式に変更

表面の構造は砂 ⇒ 砂、岩場など

・テーマ

自由発案方式
（フリー型） ⇒ 学習の場に絞った
提案募集方式（テーマ型）

※親水護岸の構造を多段式から一段式に変更したことから、
水域の利用を親水護岸までとし、前回頂きました
環境学習や床面アート、ビオトープなどの意見を参考として、
広く学習にスポットを当てた検討を行いたいと考えております。

【お問い合わせ先】 港湾局経営企画課 担当 出本、横田
E-mail : 58keiki@city.kawasaki.jp TEL : 044-200-3062